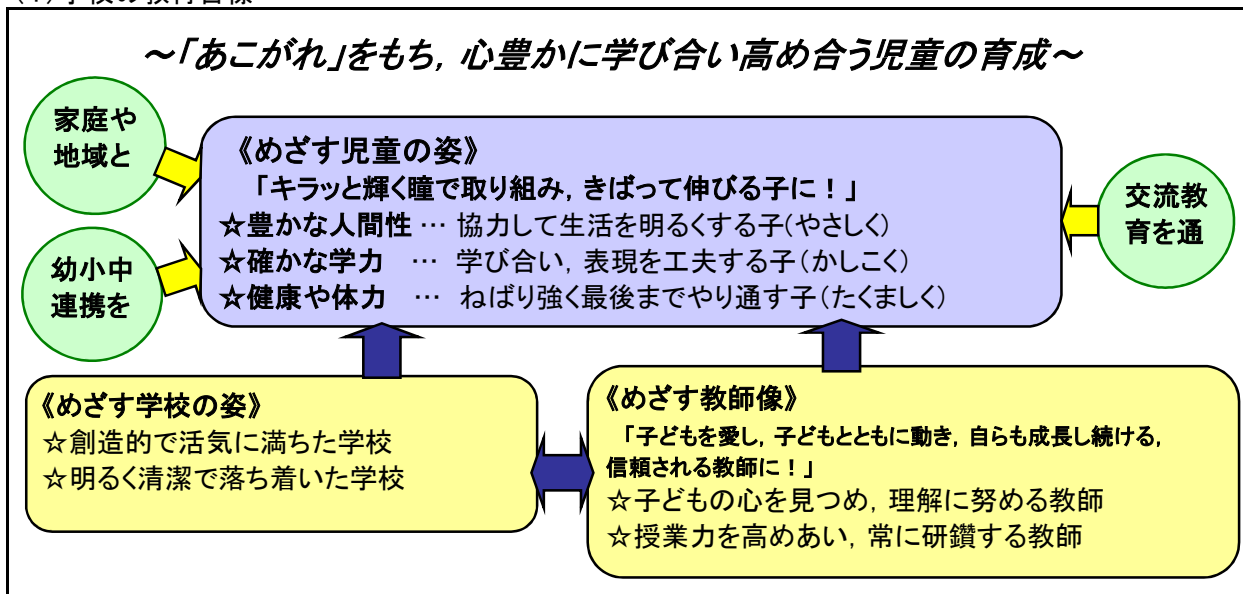


# 平成23年度教育課程

## 1 教育目標

### (1) 学校の教育目標



### (2) 目標を達成するための基本方針

- 1 **金立小学校の良さ(交流教育)をさらに磨く。**  
 ・一人一人に適切な目標を持たせ、人との関わりの中で仲間のよさに気づくと共に、自分の役割・出番に承認を受けることで自尊感情を高め、そのよさを伸ばしていこうとする。
- 2 **社会や地域が学校教育に期待しているものをしっかり意識し、『確かな学力』をつけていく。**  
 ・基礎・基本を身につけ、活用していく学習を通して、全員がわかる授業をめざし、自分の考えを伝え合い学び合いながら、考える力・判断力を高め、表現していく中で『確かな学力』をつけていく。  
 ・授業研究・職員研修を通し、教師の資質向上を図る。
- 3 **家庭との連携を図り、基本的生活習慣づくりを通して健康教育を推進する。**  
 ・基本的生活習慣作りの取り組みや関連教科等で家庭と連携をとり、「早寝・早起き・朝ごはん」等生活習慣の重要性を理解させ、健康な生活を目指す意欲づけや実践化を図る。
- 4 **雄飛学園構想のもと、幼・保・小、小・中連携を推進する。**  
 ・学習内容の系統性や指導方法・児童生徒理解を共有化し、学びへの意欲づけや円滑な移行を図る。
- 5 **教育活動の場において、家庭・地域と連携し、意図的、計画的、継続的な指導を行う。**  
 ・「子どもへのまなざし運動」に積極的に取り組み、子どもへの承認活動を増やしていく。  
 ・地域の特色(福祉)を生かした人権尊重の教育、道徳教育の充実を図る。  
 ・家庭と連携をとり、基本的生活習慣と学習習慣を身に付けさせ、学ぶ意欲を育てる。  
 ・地域の各団体と連携をとり、適材適所で地域人材を学習や生活指導に活用する。

## 6 郷土への誇りと愛着を育てる教育を推進する。

- ・総合的な学習や教科などを通して、金立町の自然や環境、歴史・文化について、地域人材とのふれあいやボランティアティーチャーの活用を行う。併せて体験活動を仕組み、金立町に関心を持たせ、郷土への誇りと愛着を育てる。
- ・「福祉の町、金立」に着目させ、調べ活動や体験活動、交流活動などで地域に働きかけ、地域の良さに気づかせる。

## 2 本校の教育の特色

### 1 交流教育を通し、豊かな人間性を育む心の教育

- ・金立特別支援学校や福祉施設との直接交流、間接交流
- ・異学年交流や縦割り交流、特別支援学級との交流
- ・いじめ・差別を見抜き、許さない、生み出さない学年・学級経営

### 2 基本的な生活習慣と学習習慣を身につけ、基礎・基本を大切に学習

- ・生活ノート「家庭からのまなざしカード」を活用し、家庭と連携しての生活習慣、学習習慣の定着
- ・問題データベースの活用や「モジュール学習」を取り入れ、集中力の向上と基礎学力の定着

### 3 雄飛学園構想による地域人材を活用した学習

～地域に学び地域を愛する子どもの育成～

- ・地域人材を招聘して、授業の講師やアシスタントとしての活用
- ・地域ボランティアによる「読み語り」の実施

### 4 雄飛学園構想による9年間の学びを見通した小小・小中連携、および幼保小連携

- ・9年間の学びの連続性や系統性をもった学習指導や生活指導
- ・学校行事を通しての連携と教科学習を通しての連携により子どもの育ちを支える教育
- ・体験活動を中心とした計画的な幼保小・小中交流

## 3 教育計画

### (1)本年度の教育の重点

#### 1 自分の感性や考えを表現し、交流できる豊かな人間性の育成

○スピーチタイムや交流、集会等での感想交流等を通して、表現力の育成に努める。(異学年交流・福祉施設との交流・学習発表会・児童会活動発表会)

○自他を大切にする人権尊重の教育、自尊感情を育てる教育、道徳教育の充実を図る。

#### 2 学習習慣・基礎基本の学力の習得活用の力の育成を図り、伝え合い学び合う場面を設定した授業実践による「確かな学力」の形成

○問題データベースの活用、モジュール学習を通し、基礎学力と学習への集中力を身につけさせる。

○思いや考えを豊かに伝え合い学び合う学習の中で、みんながわかる授業をめざす。特に算数の学習において、ノート指導に力を入れていく。

#### 3 小・中連携による円滑な接続の推進

○授業の相互参観や学習・生活部会を中心として、学習や生活について連続性や系統性をもった指導計画を作成すると共に実践を行う。

○学習や生活に関する情報交換を密に行い、相互の理解を深め、早期発見や指導に役立てる。

#### 4 金立町を愛し、町を大切にする子どもの育成

○家庭や地域と連携し、地域の行事に積極的に参加する中で、自分が住んでいる金立町の良さを知り、町を大切にする子どもの育成を図る。

○地域の教材化を図り、地域の人材を積極的に活用する。

### (2-1)幼保小中連携の取り組み

#### ◎ 雄飛学園構想のもと、「出番・役割・承認」のサイクルの中で子どもの伸びを育んでいく。

《幼保小連携》

1 幼保小連絡会議を年3回以上実施し、実態把握や教育方針等について互いに理解を図る。

2 保育参観・授業参観を相互に行い、ソフトプログラム「わくわく」などを活用し指導方法についての学習を行う。

園児の体験入学・給食試食会、1年生の幼稚園訪問(音読発表会)など、児童・園児の交流を図り、接続期のスムーズな移行を図る。



<p>特別活動</p>	<p>1 自主性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に見つけた課題を児童会活動や学級活動の中で話し合い、協力して解決しようとする態度を育てる。</li> <li>・委員会活動の活性化を図り、当番的な活動から児童の創意工夫を取り入れたたり発信したりする活動へと広がるような教育的支援を行う。</li> </ul> <p>2 縦割り活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、学級の枠を越えた異学年集団で、集会や掃除、遊び、会食をすることにより、協調性やリーダー性、思いやりの心を持つ人間性豊かな児童を育成する。</li> <li>・金立町に住む子どもとしての連帯意識を育てる。</li> </ul> <p>3 地域ボランティア等の人材活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学習やクラブ活動、集会活動(平和・交流)においてゲストティーチャーを活用したり、養護教諭、栄養職員、司書とのTTで保健や食育、図書などに関する指導の充実を図る。</li> </ul>
<p>総合的な 学習の時間</p>	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や身の回りの事象から課題を見つけ、探求活動や問題解決に主体的に取り組み、その成果を表現できる能力や態度を育てる。異学年や地域への表現の場づくりに取り組む。</li> <li>○金立の特色を生かした体験活動から学んだことを豊かに表現する力や自分の生き方に生かそうとする力を育てる。</li> <li>○金立町の自然・歴史・文化・環境・人のかかわりや体験学習を通し、郷土に対する愛着と誇りを持たせるとともに、地域の教材化、地域人材の積極的活用を推進していく。</li> </ul> <p>(学年の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域の人々、自然や歴史、環境などにふれ、金立の町に関心を持ち、郷土のよさを守り伝えていこうとする心と態度を育てる。</li> <li>3年では、緑の少年団の活動とタイアップをし、森林などの自然とふれあったり観察したりする中で、金立の良さを知る。</li> <li>4年では、金立の人々とふれあう中で、その人の生き方の素晴らしさに気づいたり、その中で生きる自分の成長を1/2成人式などを通して見つめたりする。</li> <li>5年では、環境教育をテーマに金立の環境調査を行い、環境保護の取り組み・発信を行う。また、6年を前に自己を見つめ、どう成長していくかをさぐる。</li> <li>6年では、金立の歴史や文化を調査・体験する中で、郷土の良さを確認・発信する。また、卒業を迎えるにあたって、支えられている自分に気づき、それらにどう応えるかをさぐる。</li> </ul> <p>(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金立特別支援学校との2回の直接交流と年間を通じた間接交流を通して、相手を思いやる気持ちを育むと共に、より良い生き方を目指そうとする心や態度を育てる。</li> </ul>
<p>(小) 外国語活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ALTと連携をとりながら、英語活動を通して、外国語に慣れ親しませたり、文化の違いを理解させたりしながら、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</li> <li>2 英語ノートを有効に活用するとともにゲームや活動を取り入れて、外国語に親しみ興味関心を持つような授業を仕組んでいく。</li> <li>3 系統性を考えた年間指導計画の作成を行う。</li> </ol>

生徒指導	<p><b>【重点目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調和のとれた基本的な生活習慣を身につけさせる。</li> <li>○ 学校の集団生活に適応しながら、個性を伸ばし、自己実現の力をつけさせる。</li> <li>○ 児童相互が協力し合い、進んで所属する生活集団を向上させようとする態度を養う。</li> <li>○ 不審者や事件・事故から自分を守るための方法や行動を身につけさせる。</li> </ul> <p>&lt;重点生活目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで、だれにでも、気持ちのよいあいさつができるようになるう。</li> <li>・正しい言葉づかいをしよう。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎月教育相談・生徒指導協議会を開き、全職員で共通理解を図り、一貫した指導と教育的支援を行う。(児童の心の様子の把握・問題の早期発見・指導…「心のカード」、いじめ問題行動に関するアンケートの実施…)</li> <li>2 年次計画で毎月、生活目標を設定し、全校朝会や学級で指導の徹底を図る。</li> <li>3 第4水曜日は、集団下校とし、下校体制の確立、児童の安全意識の向上に努める。</li> <li>4 生活指導員との連携を図る。 (見守り隊などの地域との連携)</li> <li>5 いじめ、不適応児童に気づいた場合、報告・連絡・相談を早急に行い、ケース会議などを開き支援体制を組む。必ず、経過の記録をとる。</li> <li>6 危機管理計画に基づいて、交通安全・水難防災・不審者対応・地震・火災の避難訓練を全校で取り組み、事後に職員研修を行う。</li> <li>7 携帯電話(メール)については、その危険性・情報モラルについて指導し、家庭への啓発を行う。</li> </ol>
特別支援教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活科や総合的な学習の時間に加え給食の時間など教育課程外の時間も活用して、交流教育を推進し、障害のある子どもについて正しい理解を図る。</li> <li>2 発達障害や学習上のつまずきのある子の実態把握に努め、配慮を要する児童には校内委員会やケース会議を通じて職員の共通理解のもと適切な支援を行う。</li> <li>3 「障害のある子どもの学校生活支援事業」等や専門的な相談機関を活用し、家庭や地域と連携しながら、校内支援体制作りを推進する。</li> <li>4 配慮を要する児童には、「個別の教育計画」を作成し、計画的に定期的な見直しを図りながら長期的、継続的な支援を行う。また、生活指導員とも連携しながら適切な指導を行う。</li> </ol>
人権・同和教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権に対する認識を深めさせ、自己肯定感情を高め、違いを認め合う心情や態度を育み、互いの個性を尊重する学級づくり、学校づくりを目指して、体験的参加型学習やグループワーク・トレーニング等の実践を取り入れたり、異学年集団の活動や人権集会・交流教育を推進したりする。</li> <li>2 教師の人権意識を高めるための校内研修や小中合同授業研究会を行う。また、人権・同和教育研修会への積極的参加と活用を推進する。</li> </ol>
キャリア教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活習慣の定着、学習の基礎・基本の習得と定着を図り、生涯学習の基盤作りをする。</li> <li>2 地域の人材とふれあう学習の場を設け、勤労観や職業観にふれさせたり、1/2成人式などの学習で将来の夢や進路を考える機会をつくる。</li> <li>3 地域の行事への参加、ボランティア活動への参加により、社会的視野を広げさせる。また、働くことの大変さを経験させるとともに、参加への承認を受けることで達成感を感じさせる。</li> </ol>
	<p><b>【福祉施設との交流教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金立町には、金立特別支援学校・児童養護施設『聖華園』・老人施設『向陽園』など多くの福祉施設があり、児童は地域の中で何らかのかかわりを持ちながら暮らしている。その「福祉の町 金立」の特徴を生かし、いろいろな人たちとのかかわりを通して、自分を見つめる強い心と、相手を思いやる豊かな心をもつ児童の育成を図る。</li> <li>・具体的取り組みとして 全学年で、金立特別支援学校との直接・間接交流を行う。 4年時に『向陽園』、町内の各施設などと間接・直接交流を行う。 各施設が行う地域での行事に積極的な参加を呼びかける。</li> </ul>

**【環境教育】**

- ・生活科・総合的な学習をはじめ、全教科で金立の緑豊かな自然(生き物や植物, 川など)について学習し, 地域の環境について学ばせる。
- ・身近な環境に関心を持ち, 自然環境を守るための実行力を習慣化づけるために「学校環境ISO」の取り組みを推進する。特に以下の5点への取り組みを充実させる。
  - ①物を大切にします。      ②落ちているゴミをひろいます。      ③アルミ缶をあつめます。
  - ④電気のむだ使いをしません。      ⑤水のむだ使いをしません。

**【情報教育】**

- ・各教科や総合的な学習の時間の中に情報リテラシーの指導を取り入れ, 情報収集や選択・活用能力の育成を図ると共に学習に生かす。
- ・情報機器を利用した授業実践や情報モラル意識を高めるために職員の研修を行い, 児童への指導に生かす。

**【図書館教育】**

- ・読書で豊かな心と語彙力を培うために, 読書タイムや地域ボランティア「ぼちぼちいこか」による読み語りの場や時間を設定する。
- ・個人の読書の記録を作成したり「チャレンジ読書50選(〇年)」などを利用したりして, 目標を持って読書活動に取り組ませる。
- ・図書室の環境整備に努めたり, 読書週間に合わせ図書館祭りを開催したりして, 親しみやすい図書館運営を行う。
- ・教科と関連付けて団体貸し出しを積極的に利用し, 多様な情報を活用する能力を養う。

**【食に関する教育】**

**1 「まなざしカード」の活用**

- ・「まなざしカード」で朝食摂取のチェックをしたり, 給食便りを活用したりして, 朝食の大切さを啓発し, 朝食摂取を推進する。

**2 給食や集会における指導**

- ・食べ物の栄養や望ましい食習慣を身に付けさせるために, 給食だより(毎月)や給食日めぐりカレンダーを発行し, 旬の食べ物や食べ物の持つ栄養, 歴史, バランスのとれた献立例の紹介を行う。
- ・児童集会や給食週間などで栄養バランスの大切さや食べ物への感謝, 給食の歴史などを紹介し, 啓発を図る。

**3 教科における指導**

- ・「食に関する指導の手引き」などを活用し, 家庭科や保健, 学級活動などの授業で学校栄養職員とのTTを推進し, バランスのよい食事の大切さや正しい食生活についての指導を行う。